

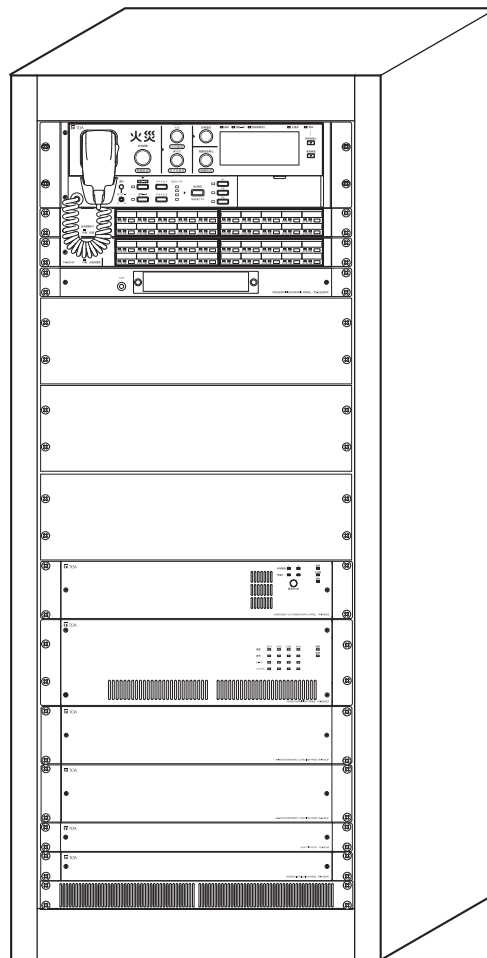


はじめにお読みください

ラック型非常用放送設備

型名 FS-A2500

Ver. 2



このたびは、TOA ラック型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ず本書をお読みにになり、未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	3
ニカド電池のリサイクルについて	4
電源コードの取り扱いについて (FS-2500DF、FS-2500DS に適用)	5
説明書の構成	5
FS-A2500 システムの概要	6
FS-A2500 システムの機能	6
FS-A2500 システムで可能な機器構成	7
FS-A2500 シリーズの構成機器一覧	8
FS-A2500 シリーズの設置について	8
IP アドレスの設定	9
アンプ拡張モード使用時	12

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

安全アースを接続する (FS-2500PD のみ)

次のことを守ってアース接続してください。
守らないと、感電の原因となります。

- 安全アース線は、上記の各機種に付属のものを使用する。
- アース線は、専用のアース端子に接続する。
- ガス管、水道管、電話線のアース、機器の機能アースには接続しない。
- アース接続は、電源プラグを差し込む前に行う。
また、アース接続を外す場合は、電源プラグを抜いて行う。



アース線を
接続せよ

配線後は端子カバーを取り付ける

ハイインピーダンスラインのスピーカー端子には最大 100 V の電圧がかかりますので、
触れると感電の原因となります。



強制

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき (心線の露出、断線など)
- 音が出ないとき



電源プラグ
を抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の
原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落と
し込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

設置場所の強度を確認する (RM-500/200FW/220FW のみ)

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。
守らないと、火災・けがの原因となります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- 本機に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。



強制

通線口を開けたときは端面処理をする (RM-200FW のみ)

RM-200FW の上下方向から配線する場合に、通線口を開けたときは、端面処理をしてください。
処理をしないと、けがの原因となります。



強制



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にはほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

AC アダプターは指定のものを使用する

(RM-500/200F/200FW をローカル給電で使用する場合のみ)
指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

ニカド電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。
守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れてたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (+) と (-) に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

ニカド電池のリサイクルについて



Ni-Cd

ニカド電池のリサイクルにご協力ください

非常用電源パネル FS-2500DS にはニカド電池を使用しています。
ニカド電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

ニカド電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

使用済みのニカド電池は、捨てないで、お買い上げの販売店または当社営業所へ返却してください。

電源コードの取り扱いについて (FS-2500DF、FS-2500DS に適用)

付属の電源コードは、各機器専用品です。
それ以外の機器に使用しないでください。

説明書の構成

FS-A2500 システムには以下の説明書があります。
目的に応じてお読みください。

説明書の名称	説明書の概要	備考
はじめにお読みください	安全上のご注意、システムの概要、設置についての特記事項など	本書
非常時の操作手順書	シート型の簡易手順書	別冊（紙で付属）
操作説明書	非常時および日常点検などの操作全般	Web のみ*
設置説明書 (FS-2500 と共通)	設置、接続全般	
システム設定説明書	FS-A2500EP の設定操作部を使用して液晶画面で行うシステム設定、メンテナンスなどのメニュー操作	
設定支援ソフトウェア取扱説明書	パソコンを使用した、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager によるシステム設定、音源設定など	Web のみ

* 紙で必要な場合は営業所へお問い合わせください。

これらの説明書は、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) からダウンロードしてお使いいただけます。タブレット端末やスマートフォンなどでブラウザを起動して URL を入力するか、右の QR コードを読み取ってください。表示された画面で品番「FS-A2500EP」を入力し、検索してください。



同サイトからは、パソコンを使用して設定できる設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager もダウンロードできます。パソコンが使用できる環境にあるときは、こちらをご利用いただくと便利です。

当社では、環境に配慮して、紙資源の削減に取り組んでおります。
ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご注意

本機の仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。
説明書をダウンロードするときは、お手持ちの FS-A2500EP に付属の「はじめにお読みください」と同じバージョンの説明書をお選びください。説明書のバージョンは表紙右上に記載しています。
「はじめにお読みください」のバージョンが分からない場合は、FS-A2500EP のファームウェアバージョンを確認し、機器に合った説明書をお使いください。
機器のバージョンは FS-A2500EP の液晶画面のメニュー「3-3 ユニットバージョン確認」により確認できます。確認のしかたはシステム設定説明書をお読みください。
説明書の Ver. 2 は FS-A2500EP のファームウェアバージョン 2.00 に対応しています。
また、設置説明書は FS-2500 設置説明書 (FS-2500DS、FS-2500PD 対応版) の最新版をお使いください。

メモ

システム設定には次の 2 つの方法があります。

システム設定の方法	使用する説明書	備考
FS-A2500EP の設定操作部を使用して液晶画面で行う。	システム設定説明書	
パソコンを使用して設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager で行う。	設定支援ソフトウェア取扱説明書	設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager のダウンロードが必要。

設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager で設定したときは、データを FS-A2500EP に付属の SD カードに保存した後、FS-A2500EP の設定操作部を使って SD カードから FS-A2500EP へデータ書き込みを行うか、または直接 FS-A2500EP に設定アップロードを行ってください。
また、音源の設定および編集、段階鳴動機能および多元非常放送の設定などは、FS-A2500EP ではできませんので、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用して行ってください。

FS-A2500 システムの概要

大規模な防火対象物で必要となる、多様で迅速な情報伝達を行うための機能を搭載した、ラック型非常用放送設備です。火災経過時間に応じて、避難誘導放送を行うエリアを段階的に拡大する段階鳴動機能を備えています。

出力系統ごとに個別の避難メッセージを放送する多元非常放送が可能です。

最大 105 元 640 回線 500 スイッチ 24,000 W まで対応し、非常放送以外に緊急地震放送、緊急放送、注意喚起放送、業務放送ができます。

通信プロトコルを利用して外部システムとの連携を行うことができます。

FS-A2500 システムの機能

- 段階鳴動機能により火災放送開始から一斉移行までの間に最大 3 段階の放送エリア拡大が可能となり、火災経過時間に応じて避難誘導放送を行うエリアを柔軟に決定できます。
- 多元非常放送の機能により、従来の音声警報メッセージに加えて、出力系統ごとに個別の避難メッセージを付与して放送することで、より多様な避難誘導に対応します。
- 階メッセージは、出火階に加え出火区単位での鳴動が可能です。
- 避難メッセージは、最大 105 出力系統、最大四カ国語まで設定が可能です。
- 非常放送対象外の出力系統では業務放送を継続し、突然の放送停止によるパニックを防止します。
- 非常放送中の任意の出力系統にのみ非常マイク放送を行うことで、的確な情報伝達が可能です。
- EL 信号をトリガーとして、ガス漏れ検知や防排煙装置の起動に対する注意喚起放送を行うことができます。
- 注意喚起放送として設定できる音源は最大 2 種類です。
- 非常用操作パネルを使用して、最大 160 回線まで対応可能です。さらに、非常系統拡張パネルを接続することで、最大 105 出力系統 640 回線まで対応可能です。
- 放送階選択スイッチは最大 500 スイッチまで対応し、個別／グループの回線選択、または非常マイク放送の出力系統選択用途に使用することができます。
- 非常用操作パネル、プリアンプマトリクスパネル、非常系統拡張パネルの各機器は、FS シリーズ専用のネットワークである FS LAN を用いて相互に接続します。
- 通信プロトコルを使用して外部システムとの連携を行い、放送制御や状態監視を行うことができます。
- 集中非常用リモコンパネルを使用することで、最大 10 棟までの多棟システムを構築することができ、遠隔操作による集中管理を行えます。

で注意

段階鳴動機能または多元非常放送機能を使用する場合は、事前に管轄の消防署の許可を得る必要があります。外部システムとの連携を行うときは、当社営業所にご相談ください。

FS-A2500 シリーズの構成機器一覧

FS-A2500 シリーズで構成可能な機器は以下のとおりです。

品名	品番
非常用操作パネル	FS-A2500EP
非常系統拡張パネル	FS-A2500EX
増設操作パネル	FS-2510EP、FS-2520EP
プリアンプマトリクスパネル	FS-2500PM
ジャンクションパネル	FS-2420JP
パワーアンプフレーム	FS-2500DF
デジタルパワーアンプモジュール	FS-006DA、FS-012DA、FS-024DA
非常用電源パネル	FS-2500DS
電源分配パネル	FS-2500PD
卓上型リモートマイク	RM-500
卓上型リモートマイク	RM-200F
卓上型リモートマイク拡張ユニット	RM-210F
RJ45 端子盤	RM-200RJ
壁掛型リモートマイク	RM-200FW
壁掛型リモートマイク拡張ユニット	RM-220FW
非常用リモコンパネル	FS-2500RM
集中非常用リモコンパネル	FS-2500RX
壁掛型非常用リモコン	FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM
非常用リモコン I/F パネル	FS-2000RF
キャビネットラック	CR-113R、CR-273、CR-413、CR-413-6
蓄電池	NDC-2435、NDC-2460
接続端子盤パネル	FS-200JB

FS-A2500 シリーズの設置について

【基本的な設置のしかた】

基本的な設置のしかたに関する説明については、FS-2500 システムと共通ですので、FS-2500 設置説明書（FS-2500DS、FS-2500PD 対応版）をご確認ください。

また、以下の点についてご注意ください。

- 構成可能な機器が FS-2500 シリーズとは異なる。（前項参照）
- 品番を次のように読み替える。
FS-2500EP → FS-A2500EP
FS-2500EX → FS-A2500EX
- FS-A2500EX の最大接続台数は 13 台となる。
FS-A2500EX を 13 台接続することで出力系統は最大 105 系統となります。
システム動作モードが「通常」に設定されている場合、1 つの出力系統は最大 960 W（FS-024DA を 4 台並列運転）となり、システム全体の定格出力は最大で 100,800 W（960 W × 105）となります。
- 非常用途の電源パネルと業務用途の電源パネルの合計で非常用操作パネルに最大 8 台、非常系統拡張パネルに最大 20 台取り付け可能で、システムで最大 268 台まで取り付け可能です。

【FS-A2500 システム固有の事項】

FS-A2500 システム固有の事項については、以下の補足説明をお読みください。

- IP アドレスの設定（ P. 9）
- アンプ拡張モード使用時の制限（ P. 12）

【非常用リモコンとの接続】

本システムと FS-2500RM との接続については、RM-2500 取扱説明書（FS-2500DS、FS-2500PD 対応版）をご確認ください。本システムと FS-2500RX との接続については、非常用リモコン多棟型集中監視システム RM-2500 取扱説明書をご確認ください。

また、以下の点についてご注意ください。

- 構成可能な機器が FS-2500 シリーズとは異なる。（前項参照）
FS-2006DS は使用できません。
- 品番を次のように読み替える。
FS-2500EP → FS-A2500EP
FS-2500EX → FS-A2500EX

■ IP アドレスの設定

各機器の IP アドレスを任意に設定できます。

各機器の IP アドレスを任意に設定するには以下の 3 つの手順が必要です。

- 各機器の設定スイッチの変更（非常用操作パネル 11、下記、プリアンプマトリクスパネル 11、P. 10、非常系統拡張パネル 11、P. 11）
- 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager による各機器の IP アドレスの設定（11 別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「機器検出とネットワーク設定」）
- FS LAN 通信設定による機器の ID と IP アドレスの設定（11 別冊のシステム設定説明書「FS LAN 通信設定 (1-4-6)」、別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「システム通信設定」の「FS LAN 通信設定」）

● 非常用操作パネル

FS-A2500EP の IP アドレスは前面扉内端子部の設定スイッチ 2 のスイッチ 8 が OFF に設定されているとき（工場出荷時の設定）は自動的に次のとおり決定します。

IP アドレス : 192.168.14.1
サブネットマスク : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

[IP アドレスの変更のしかた]

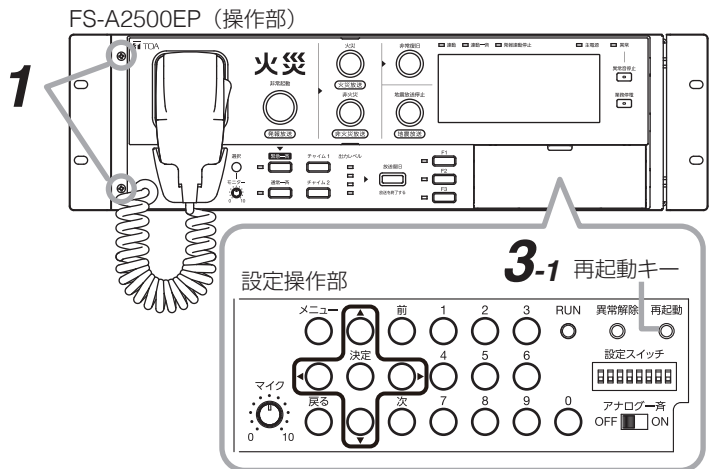
FS-A2500EP の上記 IP アドレスを変更する場合は、以下の手順で設定スイッチ 2 の設定を変更し、FS-A2500EP を再起動してください。

任意の IP アドレスへの変更は、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用して行い、アップロードしてください。（11 別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「機器検出とネットワーク設定」）

【ご注意】

スイッチ 8 が OFF になっていると、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使って IP アドレスを変更してアップロードしても、IP アドレスは変更されず、上記の設定のままです。

- 1 FS-A2500EP の前面扉固定ねじ 2 本を緩め、扉を開ける。



- 2 設定スイッチ 2 のスイッチ 8 を ON に設定する。

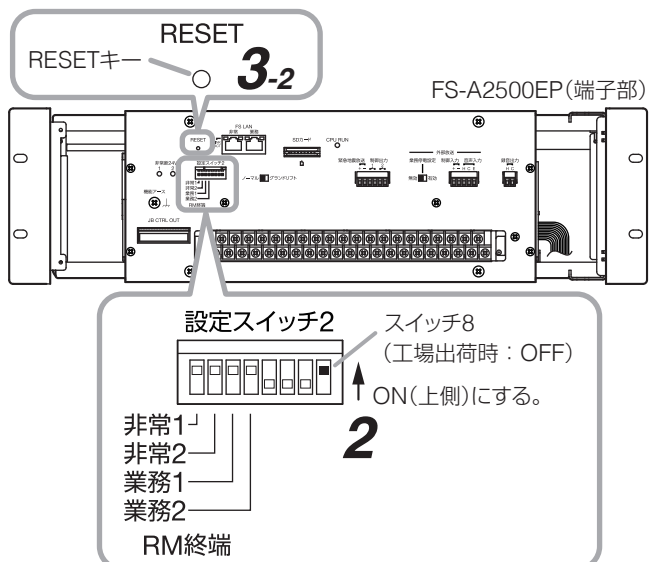
- 3 再起動する。

電源投入後にスイッチを設定し直したときは、次のどちらかの操作を必ず行ってください。

FS-A2500EP 設定操作部の再起動キーを 1 秒以上押し、システムを再起動させる。

または

FS-A2500EP 端子部の RESET キーを 1 秒未満押し、機器を再起動させる。



- 4 前面扉を元に戻す。

● プリアンプマトリクスパネル

FS-2500PM の IP アドレスは前面パネル内の設定スイッチ 2 のスイッチ 5 が OFF に設定されているときは設定スイッチ 2 のスイッチ 7、8 の設定によって自動的に次のとおり決定します。

[IP アドレス設定表]

IP アドレス	スイッチ 5	スイッチ 7	スイッチ 8	設定スイッチ
192.168.14.10	OFF	OFF	OFF	
192.168.14.11	OFF	OFF	ON	
192.168.14.12	OFF	ON	OFF	

ご注意

スイッチ 1～4、6 は使用しません。
OFF のまま変更しないでください。

[上記以外の IP アドレスへの変更のしかた]

FS-2500PM の IP アドレスを上記以外のものに変更する場合、FS-2500PM のファームウェアバージョンを 4.00 以上にしてください。ファームウェアバージョンの更新については当社営業所にお問い合わせください。

FS-2500PM の IP アドレスを上記以外のものに設定する場合は、以下の手順で設定スイッチの設定を変更し、FS-2500PM を再起動してください。スイッチ 5 を ON にすると、スイッチ 7、8 の設定が無効になります。

任意の IP アドレスへの変更は、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用して行い、アップロードしてください。(別冊「設定支援ソフトウェア取扱説明書「機器検出とネットワーク設定」)

機器 ID と IP アドレスを対応させるために FS LAN 通信設定を行ってください。(別冊「システム設定説明書「FS LAN 通信設定 (1-4-6)」、別冊「設定支援ソフトウェア取扱説明書「システム通信設定」の「FS LAN 通信設定」)

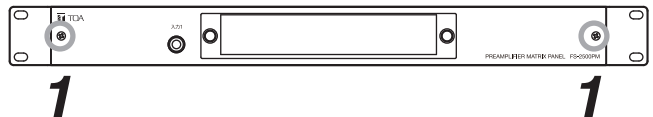
ご注意

- スwitch 5 が OFF になっていると、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使って IP アドレスを変更してアップロードしても、IP アドレスは変更されず、スイッチ 7、8 の設定に従います。
- スwitch 5 を ON で使用するときは、システム内のすべての FS-2500PM のスイッチ 5 を ON にして任意の IP アドレスに変更してください。

1 前面パネルを取り外す。

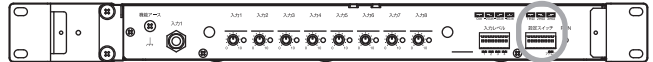
前面パネル取付ねじ 2 本を緩め、前面パネルを取り外してください。

FS-2500PM (前面)



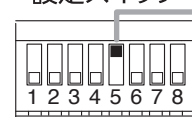
2 設定スイッチのスイッチ 5 を ON に設定する。

FS-2500PM (前面パネル内部)



1台目 2台目 3台目

設定スイッチ



スイッチ5
(工場出荷時：OFF)

ON(上側)にする。

アドレス **2**

3 前面パネルを元に戻す。

手順 1 で外したねじ 2 本を使用して、前面パネルを取り付けてください。

4 再起動する。

電源投入後にスイッチを設定し直したときは、FS-A2500EP 設定操作部の再起動キーを 1 秒以上押して、システムを再起動させてください。(別冊 P. 9)

● 非常系統拡張パネル

FS-A2500EX の IP アドレスは前面扉内端子部の設定スイッチのスイッチ 6 が OFF に設定されているときは設定スイッチのスイッチ 7、8 の設定によって自動的に次のとおりに決定します。

[IP アドレス設定表]

IP アドレス	スイッチ 6	スイッチ 7	スイッチ 8	設定スイッチ
192.168.14.20	OFF	OFF	OFF	
192.168.14.21	OFF	OFF	ON	
192.168.14.22	OFF	ON	OFF	

【注意】

スイッチ 1～5 は使用しません。
OFF のまま変更しないでください。

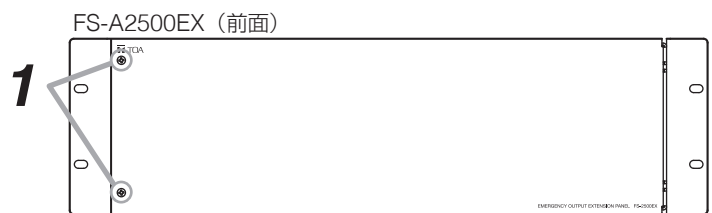
[上記以外の IP アドレスへの変更のしかた]

FS-A2500EX の IP アドレスを上記以外のものに設定する場合は、以下の手順で設定スイッチの設定を変更し、FS-A2500EX を再起動してください。スイッチ 6 を ON にすると、スイッチ 7、8 の設定が無効になります。任意の IP アドレスへの変更は、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用して行い、アップロードしてください。（別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「機器検出とネットワーク設定」）
機器 ID と IP アドレスを対応させるために FS LAN 通信設定を行ってください。（別冊のシステム設定説明書「FS LAN 通信設定（1-4-6）」、別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「システム通信設定」の「FS LAN 通信設定」）

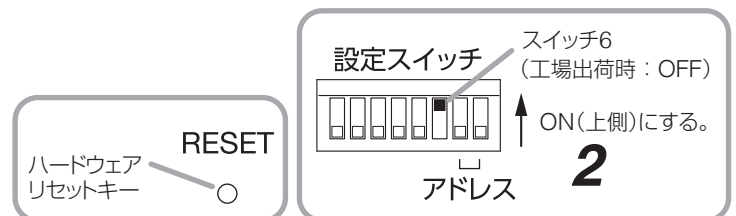
【注意】

- スwitch 6 が OFF になっていると、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使って IP アドレスを変更してアップロードしても、IP アドレスは変更されず、上記の設定のままです。
- FS-A2500EX を 4 台以上使用するときは、必ずシステム内のすべての FS-A2500EX のスイッチ 6 を ON にして任意の IP アドレスに変更してください。
- スwitch 6 を ON で使用するときは、システム内のすべての FS-A2500EX のスイッチ 6 を ON にして任意の IP アドレスに変更してください。

1 FS-A2500EX の前面扉固定ねじ 2 本を緩め、扉を開ける。



2 設定スイッチのスイッチ 6 を ON に設定する。



3 前面扉を元に戻す。

4 再起動する。

電源投入後にスイッチを設定し直したときは、次のどちらかの操作を必ず行ってください。

FS-A2500EP 設定操作部の再起動キーを 1 秒以上押して、システムを再起動させる。（別冊 P. 9）

または

FS-A2500EX 端子部のハードウェアリセットキーを 1 秒未満押し、機器を再起動させる。

■ アンプ拡張モード使用時

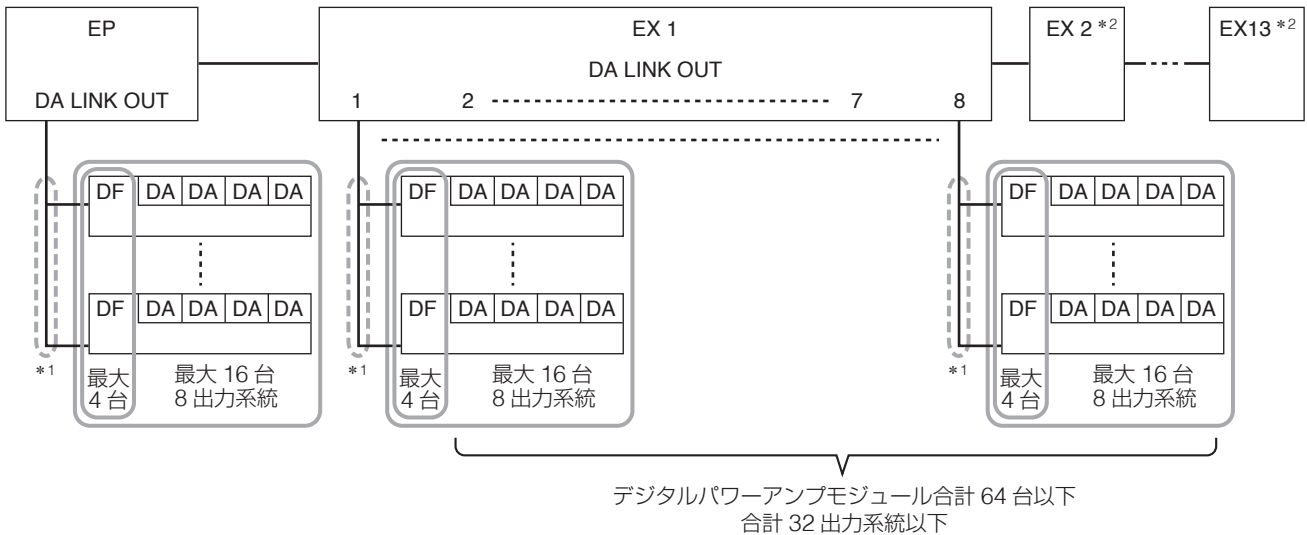
FS-A2500 シリーズと FS-2500 シリーズでアンプ拡張モード使用時の制限が異なります。

アンプ拡張モード使用時は、以下の部分のみ、FS-2500 設置説明書（FS-2500DS、FS-2500PD 対応版）「付録：アンプ拡張モード」の記載と異なりますので、確認してください。

システム動作モードが「通常」に設定されている場合、FS-A2500EX を 13 台接続すると出力系統と定格出力は最大で 105 系統 100,800 W（960 W × 105）のシステムを構成可能です。

システム動作モード	内容
アンプ拡張 A	1 つの出力系統（DA LINK OUT）に最大 4 台のパワーアンプフレーム（デジタルパワーアンプモジュール最大 16 台組み込み可）の接続が可能です。 1 系統当たりの最大定格出力は 3,840 W（240 W × 16）です。 システム全体では 122,880 W（960 W × 128）まで構成可能です。 ※ システム全体で FS-2420JP の接続台数が最大 32 台のため、出力系統数は 128 系統が最大となります。

機種	パワーアンプフレーム台数
非常系統拡張パネル	1 台の非常系統拡張パネルで、出力系統数が 32 を超えない範囲で DA LINK OUT 1 から 8 にそれぞれ最大 4 台接続可能。 デジタルパワーアンプモジュールは 1 つの出力系統につき最大 16 台まで、合計で最大 64 台まで接続可能。 最大定格出力 15,360 W（FS-024DA を 64 台組み込み時）



*1 アンプ拡張 B モード時は音声切換パネル ES-011 を接続

*2 2～13 台目の FS-A2500EX へのデジタルパワーアンプパネルの接続についても、1 台目の FS-A2500EX と同じです。

※ 上図の略語は以下のように各機器を表します。

EP : 非常用操作パネル FS-A2500EP
EX1: 1 台目の非常系統拡張パネル FS-A2500EX
DA : デジタルパワーアンプモジュール
DF : パワーアンプフレーム

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。	当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。		
TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/			